

道徳科を楽しく勉強しようの会

京都市小学校道徳教育研究会
会長 近藤 清美
研修部長 保本 貴え
副部長 居林 良和

実践発表 養徳小学校 教諭 吉田 亜以 (マイスター)
「考え・議論する道徳」へのさらなる授業改善に向けて

大切にしたいです

- ①児童の実態を踏まえ、学年重点目標を設定しましょう。
- ②指導要領解説から、内容項目や指導の要点を捉えましょう。
- ③価値を意識させる、日常生活とのつながりを意識させる「導入」を検討しましょう。
- ④資料『ちこく』で、児童に「考えさせたいこと」は何かを熟考し、中心発問や基本発問、手立てを検討しましょう。



『ちこく』

となりのクラスとサッカーの試合をすることになり、こう太・かずやは練習に励んでいました。ところが試合当日、かずやは試合の開始時刻に来ず、遅刻してきました。「ごめんね、早く来たかったんだけど…」と謝るかずやに対して、こう太は「もう仲間じゃない」と厳しく叱責します。しかし後日、かずやは弟の看病のために遅刻してきたことを知り、こう太は後悔します…。

発問①

「こう太の行動で、よくないところはどこでしょう。」

(児童の反応)

- 理由を聞いていない。
- 「仲間じゃない」と勝手に辞めた。
- 言い方がきつい。

問題をつかむ



発問②

「こう太には、どんな考えが足りなかったのでしょうか。」

(児童の反応)

- かずやを心配する気持ち
- 自分中心の考え方 やさしさ
- 広い心

問題について考える

発問③

「どうすれば、こう太とかずやは仲直りできるでしょう。」

- ※「方法」を考えさせたいのか、気付きをもたせたいのか… (授業後 再検討)

「価値」について気付きをもつ、考えさせるなら?

改善 発問③↓

- 「このままで2人はいいの?」
- 絶対あかん、仲直りして欲しい、「どうしてそう思ったの?」

自分事として捉え、道徳的な問題や価値への気づきを促す発問になるように

POINT 注意点

ゆさぶり・切り返しの発問でより多面的・多角的な思考に

こう太だって腹を立てているのに、どうして謝るの? (根拠・理由)

どんな気持ちで、謝ることにつながったのかな? (行為への気付き)



かずやはこう太に怒られている時、どんなことを思っていたのかな? (視点の切りかえ)

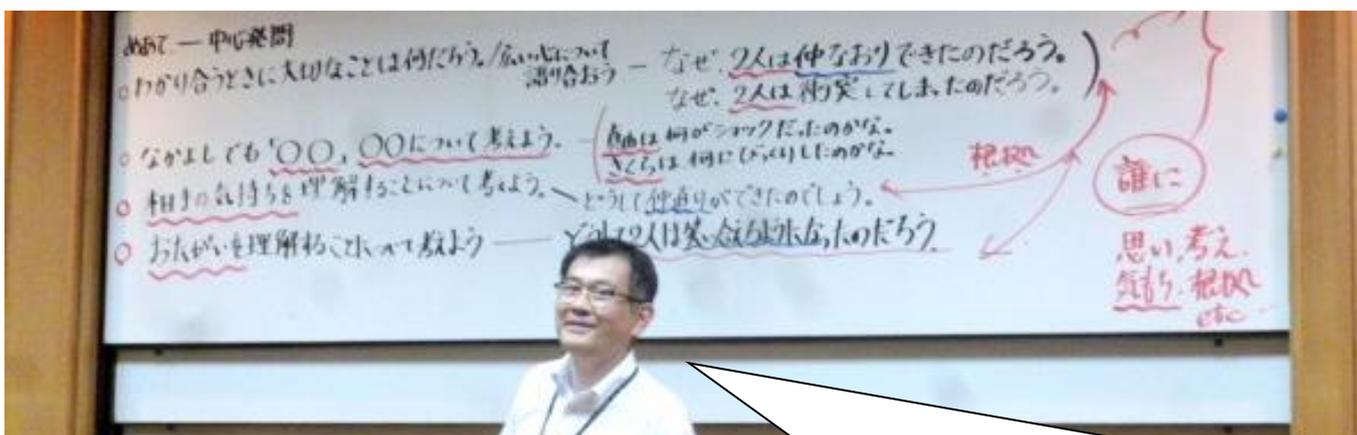
この『ちこく』の教材で授業をする時、みなさんだったらどんなめあてを提示して授業を行いますか? (吉田先生めあては…裏面です)





「わかっているはずだから」

学級で出し物をする事になり、光太の「迷路」と真由の「劇」とに絞られました。多数決になりそうな状況で、真由と仲良しであるさくらは「迷路」を選びました。味方になってくれなかったさくらに対して真由は激怒しますが、「仲よしだったら、同じじゃないといけないのかな？」というさくらの言葉を聞き、真由はあることに気付けたことで、笑顔の2人に戻ることができました。



授業を1つ、創ってみましょう！（①めあてを定め、②中心発問を検討し、③手立てを練りましょう）

内容項目 B相互理解・寛容 自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、相手のことを理解し、自分と異なる意見も大切にすること。

①めあて
(ねらい)

めあて 「分かり合うときに大切なこと」は何だろう（/「広い心」について語り合おう）

中心発問 なぜ2人は仲直りできたのだろう。/なぜ2人は衝突してしまったのだろう。

②中心発問
めあてや価値をどこで考えさせるか…？



めあて 「相手の気持ちを理解すること」について考えよう

中心発問 どうして仲直りができたのでしょうか。

めあて お互いを理解することについて考えよう

中心発問 どうして2人は笑い合えるようになったのだろう。

③手立て
どうやったら一層思考が活発になるだろうか？

めあて 「なかよしでも『〇〇』、〇〇について考えよう

中心発問 真由は何がショックだったのかな。/さくらは何にびっくりしたのかな。

誰のことを考えさせますか

(A 自分自身に関する事
→ 1人の気持ちや思い)

(B 他者との関わりに関する事
→ 自分と他者、双方の気持ちや思い)

中心発問を考える



何を考えさせますか

考え (どんなことを考えたでしょう。)

思い (どんなことを思ったでしょう。)

気持ち (どんな気持ちだったでしょう。)

根拠・理由 (どうして〇〇したのでしょうか。)

表面の答え 吉田先生の提示しためあては「相手のことを考えて」でした。「相互理解・寛容」は「他者とのかわり」の内容ですが、視点を1人に絞るか、かずやとこう太の両方から考えさせるかによってめあてが異なってきます。「目の前の児童に考えさせたいことは何か」を検討し、設定・提示してください。